

感染症に関する資料

感染症についての正しい知識や
予防の「スキル」を豊富に掲載
しています。



▼ 3・4年 p.20

資料 手のあらい方 スキル

QRコード: 手のあらい方

- 流水で手をぬらす。
- せっけんをあわ立てる。
- 手のひらをあらう。
- 手のこうをあらう。
- 指の間をあらう。
- 親指のつけ根をあらう。
- 指先、つめをあらう。
- 手首をあらう。
- 流水で、よくすすぐ。
- せいけつなハンカチなどで、手をふく。

●あらいのこしが多いところ
指先、つめと皮膚の間、指の間、親指のつけ根

消どくえきを使うときもある。

日本スポーツ振興センター「感染症予防には手洗いが効果あり! / さあ! やってみよう!」より

▼ 5・6年 p.52

資料 マスクのつけ方 スキル

QRコード: マスクのつけ方

マスクは、せきやくしゃみのしぶきが周囲に飛び散るのを防ぐので、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染拡大を予防する効果があります。

つけ方

- 手を洗う。
- 鼻の位置に合わせて、ゴムを耳にかける。(ワイヤーが入っている物は、鼻の形に合わせる。)
- あごの下までをばし、すき間ができないようにする。

注意事項

- マスクをつけた後は、マスクにさわらない。
- 口や鼻を出さない。
- マスクの有無にかかわらず、洗っていない手で口、鼻、目さわらない。

外し方

- マスクにはさわらず、ひもの部分を持って外す。
- 手を洗う。

マスクがないとき

人から1~2mはなれる。
口をハンカチやそででおさえる。

運動をするときや、気温、湿度が高いときは、呼吸が苦しくなったり、熱中症になったりする危険があるので、マスクを外しましょう。また、病気が原因などの理由で、マスクをつけられない人がいることを知っておきましょう。

▼ 5・6年 p.53

予防接種

予防接種は、予防したい感染症の病原体の毒性を弱めたり、感染力をなくしたりしてワクチンを作り、それを体に入れて、めんえきを付ける方法です。予防接種を行うと、本物の病原体が体に入っても、感染しにくくなったり、軽い症状で済んだりします。感染症には、ワクチンが開発されているものといないものがあります。

新型コロナウイルス感染症の予防接種

インフルエンザ はってん

インフルエンザは、インフルエンザウイルスという病原体が空気や手を通して体内に入ることによって起こる感染症です。インフルエンザの発病は急で、高熱やのどの痛みなどのほか、全身のだるさ、頭痛、関節痛、筋肉痛、鼻水やせきなど、かぜに比べると重い症状が現れます。毎年流行をくり返しているインフルエンザは、前に流行したことがあるインフルエンザのウイルスによるものなので、ワクチンや治療薬が開発されています。しかし、インフルエンザウイルスには少しずつ種類がたくさんあり、新しいものが現れることもあります。そうすると、今までのワクチンや治療薬が効かず、大流行を起こす危険性があります。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19) はってん

新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルスという病原体が空気や手を通して体内に入ることによって起こる感染症です。発熱、せき、肺炎、味覚・きゆう覚障がいなど、さまざまな症状が報告されています。新型コロナウイルス感染症は、2019年の終わりに発生し、あっという間に世界中に広まりました。日本でも全国に感染が広まり、緊急事態宣言が出され、学校が休校になったり、人が集まる施設が休業になったり、人々の移動が制限されたりしました。新型コロナウイルス感染症は、それまでいちども流行したことがなかったため、人はそのウイルスに対する免疫力が低く、大流行してしまったのです。感染が広がる中、新型コロナウイルスに効果のあるワクチンが開発され、予防接種が進められました。

緊急事態 13都府県に拡大 感染最多2万5000人

読売新聞 2021年8月20日

臨時休園のお知らせ
取り付ける動物園 (大阪府大阪市)

新型コロナウイルス感染症のように、新しいウイルスによる感染症の流行が、これからも起こるかもしれません。そのようなときには、この単元で学習したことに加え、その感染症について正しい情報を入手し、考え、行動するようにしましょう。うわさ話やインターネットの情報の中には、正しくないものもあるので注意しましょう。

感染した人を責めるのではなく、その人の立場に立って考え、思いやりの気持ちを持つことが大切です。

新型コロナウイルス (約36,000倍)
※病原体は分かりやすくするため着色してあります。

—未来を生きる子どもたちに—
感染症について、正しい知識や
予防のスキルとともに伝えたいこと

- 今後も新しい感染症が発生する可能性があること。
- 保健で学習した「感染症の予防」は、未知の感染症への予防の基本となること。
- 正しい情報の入手と、よく考え行動することが必要であること。
- 差別をしてはいけないこと。



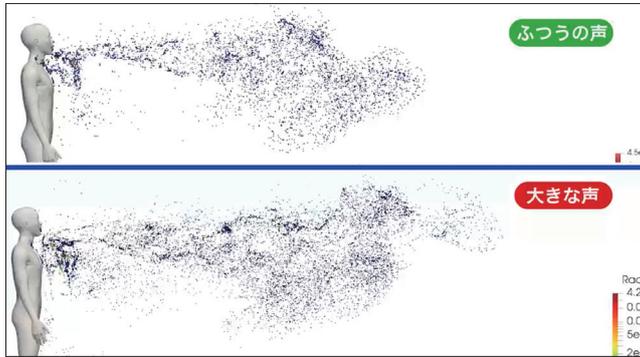
感染症に関するそのほかの資料

- 5・6年 p.48 体のていこう力
- 5・6年 p.54 結核
- 5・6年 p.54 エイズ

感染症に関するQRコンテンツ

「ひまつの飛び方」

▼ 5・6年p.50



スーパーコンピューター「富岳」のシミュレーション動画です。飛沫が拡散していく様子を確認することができます。

「手を通した感染」

▼ 5・6年p.50



日常生活の中でさまざまな物に触れていることを可視化できるようにした動画です。手を通した感染の広がりをイメージすることができます。

「感染症の種類」

▼ 5・6年p.50

ウイルス	インフルエンザ	要注意時期
		12～3月
主な感染経路	飛まつ感染（接触感染もある）	
潜伏期間	1～3日	
主な症状	発熱（38度以上の高熱）、頭痛、だるさ、筋肉痛・関節痛、せき、鼻水など	
ワクチン	インフルエンザワクチン	
治療方法	発症後、できるだけ早く抗インフルエンザウイルス薬を使用する。	
注意する年齢	全ての年齢の人	
	毎年のように本を中心に大流行するウイルス、ワクチンはあるが、毎回少しずつ形を変えるため、新しい種類が現れることもある。	

調べたい感染症をクリックすると、感染経路や症状、治療方法などが表示されます。「生活習慣病」についても、同様のコンテンツを用意しています。

感染症に関するそのほかのQRコンテンツ

- 5・6年p.46 **思考ツール** かぜをひく要因
- 3・4年p.20 **動画** 手のあらい方
- 5・6年p.52 **動画** 手の洗い方
- 5・6年p.54 **動画** エイズ

「マスクのつけ方」

▼ 5・6年p.52



正しいマスクのつけ方や外し方、捨て方などを確認することができます。

「新しい感染症」

▼ 5・6年p.53



新型コロナウイルス感染症流行時の様子を振り返るとともに、新しい感染症が流行したときの心構えについて確認することができます。